

第166回女川原子力発電所環境保全監視協議会資料

令和5年度第1四半期のモニタリングポスト測定結果における  
「過去の測定値範囲」の誤りについて

1. 事象概要

令和5年度第1四半期のモニタリングポスト測定結果のうち、「過去の測定値範囲」に誤りがあった。

誤りがあったのは、MP-5の「令和3年4月～令和5年3月までの測定値の範囲」(以下、「至近2年度の過去の測定値範囲」という。)であり、最大値「68 (nGy/h)」とすべきところ「66 (nGy/h)」としていた。

(5) モニタリングポスト測定結果 (単位: nGy/h)													(5) モニタリングポスト測定結果 (単位: nGy/h)																
	4月				5月				6月				過去の測定値範囲*			4月				5月				6月				過去の測定値範囲*	
	最大	平均	最小	標準偏差	最大	平均	最小	標準偏差	最大	平均	最小	標準偏差	最大	最小		最大	平均	最小	標準偏差	最大	平均	最小	標準偏差	最大	平均	最小	標準偏差	最大	最小
MP-1	50	38	36	1.8	57	38	35	2.7	55	38	35	2.4	70	32	MP-1	50	38	36	1.8	57	38	35	2.7	55	38	35	2.4	70	32
MP-2	47	35	33	1.7	53	35	33	2.5	52	35	31	2.3	65	25	MP-2	47	35	33	1.7	53	35	33	2.5	52	35	31	2.3	65	25
MP-3	49	36	34	1.8	54	36	33	2.7	50	36	33	2.2	69	30	MP-3	49	36	34	1.8	54	36	33	2.7	50	36	33	2.2	69	30
MP-4	51	35	33	1.9	54	35	32	2.6	51	35	32	2.6	67	30	MP-4	51	35	33	1.9	54	35	32	2.6	51	35	32	2.6	67	30
MP-5	50	36	34	1.8	52	36	33	2.3	50	36	33	2.3	66	29	MP-5	50	36	34	1.8	52	36	33	2.3	50	36	33	2.3	68	29
MP-6	57	45	42	1.9	64	45	42	2.8	59	44	41	2.2	81	44	MP-6	57	45	42	1.9	64	45	42	2.8	59	44	41	2.2	81	44
測定器: 2" φ×2" NaI (Tl)シンチレーション検出器 温度補償型															測定器: 2" φ×2" NaI (Tl)シンチレーション検出器 温度補償型														
備考	・定期点検による欠測 MP-1: 4/6(5個)、6/12(42個)、MP-2: 4/6(5個)、6/13(44個)、MP-3: 4/7(3個)、6/8(38個) MP-4: 4/7(3個)、6/7(38個)、MP-5: 4/7(5個)、6/6(42個)、MP-6: 4/6(5個)、6/5(38個)														備考	・定期点検による欠測 MP-1: 4/6(5個)、6/12(42個)、MP-2: 4/6(5個)、6/13(44個)、MP-3: 4/7(3個)、6/8(38個) MP-4: 4/7(3個)、6/7(38個)、MP-5: 4/7(5個)、6/6(42個)、MP-6: 4/6(5個)、6/5(38個)													
*上段: 平成21年4月～平成23年3月11日までの測定値の範囲を示す(福島第一原発事故前)。 下段: 令和3年4月～令和5年3月までの測定値の範囲を示す(福島第一原発事故後)。																	*上段: 平成21年4月～平成23年3月11日までの測定値の範囲を示す(福島第一原発事故前)。 下段: 令和3年4月～令和5年3月までの測定値の範囲を示す(福島第一原発事故後)。												

2. 誤りに至った経緯 (原因)

「至近2年度の過去の測定値範囲」は、当社システムを用いてデータベースから指定した期間の統計データを帳票として出力し、その帳票を基に報告書の作成および作成後のチェックを行っている。

しかしながら、この帳票を出力する際、帳票の期間指定を過去2年度(2021年4月1日～2023年3月31日)とすべきところを、過去1年度(2022年4月1日～2023年3月31日)としてしまったため、誤りが生じたものである。

また、作成後はチェックシートを使用して作成者およびチェック者の二人でチェックを行っているが、出力した帳票の期間を確認することになっていなかったため、帳票が誤っていたことに気づくことが出来なかった。

3. 影響範囲

今回の誤りは「過去の測定値範囲」に係るものであり、測定結果に影響はなかった。また、「過去の測定値範囲」に福島第一原子力発電所事故前後の過去2年度分を記載するようになった平成24年度以降について調査した結果、令和5年度第1四半期以外は同様な誤りが無いことを確認した。

4. 再発防止対策

作成後のチェックに使用するチェックシートに、出力した帳票が正しい期間で出力されたものであるかを確認する項目を追加し再発を防止する。

以上

(参考)

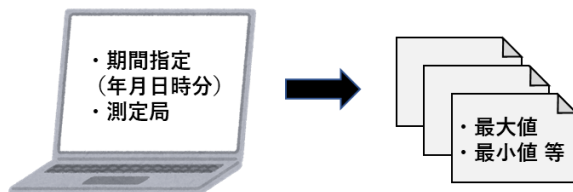
## 事象に至った経緯のイメージ図

### ① 当社システムにて帳票を出力

⇒ 帳票を出力するにあたって、期間指定を誤ってしまった。

(正) 過去2年度 (2021年4月1日～2023年3月31日)

(誤) 過去1年度 (2022年4月1日～2023年3月31日)



### ② 出力した帳票を基に「至近2年度の過去の測定値範囲」を作成・チェック

⇒ 帳票が誤っていたため、報告書にも誤りが生じた。

また、作成後のチェックでも同じ帳票を使用しているため誤りに気づくことが出来なかった。

(5) モニタリングポスト測定結果 (単位: nGy/h)

	4月				5月				6月				過去の測定値範囲*		
	最大	平均	最小	標準偏差	最大	平均	最小	標準偏差	最大	平均	最小	標準偏差	最大	最小	
MP-1	50	38	36	1.8	57	38	35	2.7	55	38	35	2.4	70	32	
MP-2	47	35	33	1.7	53	35	33	2.5	52	35	31	2.3	79	35	
													65	25	
MP-3	49	36	34	1.8	54	36	33	2.7	50	36	33	2.2	74	32	
													69	30	
MP-4	51	35	33	1.9	54	35	32	2.6	51	35	33	2.3	71	32	
													67	30	
MP-5	50	36	34	1.8	52	36	33	2.3	50	35	33	2.0	70	32	
													68	29	
MP-6	57	45	42	1.9	64	45	42	2.8	59	44	41	2.2	66	33	
													81	44	
備考	測定器: 2" φ×2" NaI (Tl) シンチレーション検出器 温度補償型													・最大値	・最小値 等
	定期点検による欠測 MP-1: 4/6(5個)、6/12(42個)、MP-2: 4/6(5個)、6/13(44個)、MP-3: 4/7 (3個)、6/8(38個) MP-4: 4/7(3個)、6/7(38個)、MP-5: 4/7(5個)、6/6(42個)、MP-6: 4/6 (5個)、6/5(38個)														

\*上段: 平成21年4月～平成23年3月11日までの測定値の範囲を示す (福島第一原発事故前)。  
下段: 令和3年4月～令和5年3月までの測定値の範囲を示す (福島第一原発事故後)。

### (問題点)

誤った期間指定で出力された帳票であることに気づけなかった。

### (再発防止対策)

作成後のチェックに使用するチェックシートに、出力した帳票が正しい期間で出力されたものであるかを確認する項目を追加した。